

急傾斜地崩壊防止・地すべり防止対策研修会 プログラム（実務実践研修）

※この研修会は全国測量設計業協会CPD認定講習会（10ポイント）です。

講師プロフィール

オオタ ヒデマサ

- 氏名 太田 英将
- 所属 有限会社 太田ジオリサーチ 代表取締役社長
- 資格 APECエンジニア、技術士（地質、土質及び基礎、森林土木）、コンクリート診断士、地すべり防止工事士他
- 経歴 ①宅地造成設計・施工講習会講師；（一財）全国建設研修センター
②（社）土木学会；地盤工学委員会
斜面工学研究小委員会委員（2003～2010年）
③（社）土木学会；平成19年新潟県中越沖地震調査団、
平成20年岩手・宮城内陸地震調査団他
④近畿地方整備局長表彰、事務所長表彰
⑤日経コンストラクション・・・考える力養成プロジェクト
（ドボク塾）で好評

【1日目】 10：30～16：50 急傾斜地崩壊防止工法を主に

斜面安定問題の基礎 10:30～12:00

- 斜面安定計算の基礎
- 斜面安定計算基礎演習

斜面安定問題は、斜面上の土のせん断破壊問題であり、基礎となる斜面安定計算を最初に行う

概説 13:30～14:30

- 急傾斜地崩壊防止対策事業の概要

土砂災害防止法前と土砂災害防止法施行後の考え方の違い

- 急傾斜地崩壊防止危険地区の範囲設定の考え方
- 急傾斜対策の測量・調査の要点

調査計画を立案するには、対策工を想定していないとできない（ボーリング調査位置含む）

対策工設計 14:45～15:45

- 急傾斜地崩壊防止工法の種類（待ち受け対策と発生源対策）
- 工法比較検討

待ち受け、発生源（鉄筋補強土工）、安定勾配切土（掘削勾配と高さ土質）

演習 16:00～16:50

- 急傾斜地崩壊防止工法の比較検討演習（数量算出方法も含む）

【2日目】 9：30～16：30 地すべり防止工法を主に

概説 9:30-12:00（途中15分休憩）

- 地すべり防止事業の概要
- 地すべりブロックの抽出方法（空中写真判読法、地表踏査）

演習

- 空中写真判読演習
- 地すべり災害復旧工事の盲点 13:00-13:45

（事故につながる災害復旧事例；末端部が摩擦の強いところに乗り上げ、そこを切土する場合、側部を切土する場合など）

- 地すべり安定計算（2次元逆算法、3次元法）

安定計算と対策工設計

14:00-16:30 (途中15分休憩)

地すべり防止対策工法の種類 (地下水排除工・抑止杭工・アンカー工)

演習

空中写真判読したブロックの対策工設計 (設計時の制約事項; 設計ルール)

比較検討演習

◆業務予定などの都合による参加者交代は可能です。ご遠慮なく申し出てください。